

「カチューシャ」を歌って

～第20回外国語コンテスト（ロシア語部門）

清水 伸子

昨年の課題に続き、今年も歌を選びました。昨年より、とあるアニメで流れるロシア民謡の「カチューシャ」を歌ってみたいという声があり、今年はこの「カチューシャ」に挑戦しました。

授業内で紹介し始めたところ、2年生のクラスでは『去年も歌ったよね～』などと言いながら、去年の課題曲の一節を口ずさんでくれる学生もおり、『おお！1年経っても、覚えてる！（こちらの狙い通りだ！）』と思わずニヤリとしていました。

さて、この「カチューシャ」という曲は、もともと戦争に行った愛しい人のことを思って歌った曲で、詩の内容は女性の視点で書かれているのですが、ロシアの戦車でカチューシャという愛称で呼ばれた戦車が実在したこともあり、戦場で男の人たちが歌ったりもしたようです。You tube で歌を紹介すると、『先生、あの映像の最初に映っていた戦車がカチューシャです』と教えてくれる学生もおり、『なぜに、君はそんなことが分かるのだ！？』と感心するやら、驚くやら。

リズム付け指導が終わった個所は、音楽を流すと学生たちが自然と口ずさむという感じで、審査員のタチアナ先生と、来年もやっぱり歌で行きましょう！とニンマリしておりました。

コンテストには1年生から4年生まで参加があり、カラオケで息を合わせてグループで歌ってくれた人あり、アカペラで戦場で歌う歌よろしく力強く歌ってくれた人あり、で入賞者を決めるのが大変でした。

今年の入賞者は、男性グループばかりが入賞しました。1位は青木駿（法1）・篠田竜也（経営1）デュエット、2位は佐藤貴将（経営1）・長友英心（経済1）・西河雄紀（法1）トリオ、3位は加賀大介（法1）・木村剛志（経済1）・小酒井貴大（経済1）トリオでした。

授賞式では入賞者全員で歌を披露しましたが、「初めて聞いたけど、いい曲」という声が学生からあった反面、教員からは『え！今の学生は「カチューシャ」を学校で習わないの？』と驚きの声もあり、いろいろな意味で歌「カチューシャ」は話題になったようでした。